



## いま、改めて「別葉」



教育庁指導部 主任指導主事 山村 智治

当課では、各小・中学校等及び各区市町村教育委員会の御協力の下、毎年度末に「道徳教育推進状況調査」を行っており、その年度の道徳教育に関する取組の状況と次年度の計画について伺っております。その中で、全体計画の「別葉」の作成に関する回答に今回は着目し、考察します。

平成29年度に別葉を作成した学校の割合は、小学校で41.0%、中学校で36.5%でした。それが、平成30年度の作成について尋ねると（作成予定も含む）、小学校で66.0%、中学校で55.9%となりました。予定も含まれてはいますが、小学校で20ポイント以上、中学校で約20ポイントの上昇であり、驚くべき変化です。

別葉を作成することの意義を、当課でも様々な場面で強くお伝えしてまいりました。その成果と捉えたいところですが、やはりこの急激なポイントの上昇は、道徳の教科化を巡る学校の変容の一つであり、児童・生徒に道徳的な実践力を育もうとする各校の意欲の表れと考えることが妥当でしょう。

新しい学習指導要領解説総則編では、別葉に記したいものとして「各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの」「道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの」「道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動等が分かるもの」を例として挙げています（小・中同じ）。道徳教育が「特別の教科 道徳」を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであるならば、上記の事柄が記述されている別葉の大切さは言うまでもありません。

しかし、別葉を作成したことで満足してしまっただけではいけません。活用されなければ。そのためにも、見やすさなどの活用重視の観点で別葉を作成していただきたいと思います。例えば、自校の特色や重点を分かりやすく示しながら、それとの関連の軽重から、記述する情報を取捨選択すること。道徳科以外の道徳教育に関する指導内容のポイントと指導時期を明確に示すこと等です。そして、何より重要なことは使いながら修正を加えていくようにすることです。

作成の労が、それ以上の成果に変わり得るものにしてまいりましょう。

### 掲載内容

- 平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査問題の解説及び授業改善について
- 平成30年度「法」に関する教育を推進するための授業公開について
- 就学前教育カンファレンスを開催しました
- 道徳授業地区公開講座意見交換会導入ビデオ資料の活用について
- 「特別の教科 道徳」授業力向上セミナーの開催予定について
- 東京都「特別の教科 道徳」カンファレンスを開催しました
- 「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための研修」について
- 「理数教育の窓」—理数好きの子供たちを育てるために—

東京都教育委員会のホームページ内に「学校教育」というコーナーがあるのを御存じですか？「学校教育」からは、各学校が指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図るための諸資料をまとめた、各ページに移動することができます。

また、「学校教育」にある「指導資料・報告書等」のページには、様々な事例集や報告書等を掲載しており、メール・マガジン「スクラム」のバックナンバーも、こちらに掲載しています。

是非御覧いただき、参考にいただければと思います。

（東京都教育委員会ホームページアドレス

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、[S9000024@section.metro.tokyo.jp](mailto:S9000024@section.metro.tokyo.jp)へメールを御送信ください。



# 平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」

## 調査問題の解説及び授業改善について

平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査問題等の説明を収録したDVDについて、7月25日のスクラム臨時号でお知らせしました。今回はこのDVDから、各教科の問題を一問ずつ取り上げ、正答を導くためのポイントや、授業改善を行う際、大切にしていきたい内容について紹介します。

### 小学校・国語 6(2) 【書く能力を見る問題】

#### 【活動内容を伝える紹介文の下書き】

ふだんからせきやくしゃみが出るときは、マスクをすることが大切で、マスクがない場合は、顔を他の人に向けてないようにして、ティッシュやハンカチなどで口と鼻をおおきましょう。

#### 【出題の趣旨】

下書きを推敲し、よりよい表現に書き直すことができるかをみる。

#### 【問題の概要】

左の一文を「しかし、」でつながるように二つの文に分けたとき、一文めの終わりをどのように書き直せばよいでしょうか。書き直した一文めの終わりの六文字を書きましょう。「、」や「。」も字数に数えます。

→【正答】「が大切です。」 ←

この問題の場面は4年生に活動内容を伝えるという設定ですので、より分かりやすい文にすることが求められます。この問題の正答を導くためのポイントは、下書きの文に、マスクがある場合と、マスクがない場合の2つの内容が含まれていることに気付くことです。

この問題のような学習活動においては、児童がよりよい文章に書き直し、推敲によって文章が整ったことを実感できるように、下書きと推敲後の文章を比べさせることが大切です。

### 小学校・社会 4(4) 【社会的な思考・判断・表現をみる問題】

#### 【A スーパーマーケットの野菜売り場で見付けたくふう】

① 何個かをパックづめて売っているトマトと、ばら売りに売っているトマトがある。



② その日の朝にとれたことが分かる表示をしている。



③ 料理の材料となる数種類の野菜を、切つてふくらづめたものが売られている。



#### 【くふうを行っている理由】

- a お客様が、調理の手間を減らしたり、ごみを出さないようにしたりするため。
- b お客様が、味を確かめてから買うかどうかを決められるようにするため。
- c お客様が、必要な個数を選んで買えるようにするため。
- d お客様に、新せんな野菜を売っていることを伝えるため。

#### 【出題の趣旨】

スーパーマーケットの売り場の工夫とその目的を正しく捉えることができるかをみる。

#### 【問題の概要】

左図の①から③までのくふうと、下の【くふうを行っている理由】のaからdまでとの組み合わせとして最もふさわしいものを選び、記号で答えましょう。

#### 【正答】

エ ①-c ②-d ③-a

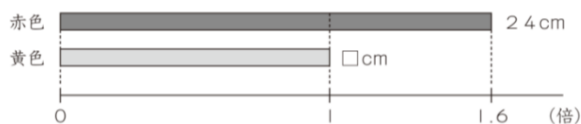
児童が調べて分かったことを分類・整理したり、それらの目的や原因について考えたりすることは、児童が「社会的事象の特色や相互の関連、社会的事象の意味」を捉えるために必要な学習活動です。この問題の正答を導くためのポイントは、スーパーマーケットの野菜売り場で見付けた工夫とその理由との組み合わせを、正しく捉えることです。

この問題のような学習活動では、児童が発表した「スーパーマーケットで見つけた工夫」を黒板等で分類・整理し、「なぜこのような工夫を行っているのだと思いますか。」など、それらの工夫の目的を考えさせる発問を行うことが大切です。

小学校・算数 4(1) 【数学的な考え方をみる問題】

24 cm の赤色のテープと、□cm の黄色のテープがあります。次の【図】は赤色のテープの長さや黄色のテープの長さとの関係を表しています。

【図】



【出題の趣旨】

基準量、比較量、割合の関係を図と関連付けて考えることができるかをみる。

【問題の概要】

【図】をもとに、赤色のテープの長さや黄色のテープの長さとの関係を、□を使ったかけ算の式で表しましょう。

【正答】

$$\square \times 1.6 = 24$$

この問題では、基準量や割合の関係を数直線図と関連付けて、基準量を求める式を四角を使った式で表せるかを見ています。この問題の正答を導くポイントは、数直線図から基準量(□)の1.6倍が比較量(24)であることが分かることです。

この問題のような学習活動では、基準量、比較量、割合の関係に関する問題を考える際に、数量の関係を数直線図などに表したり、問題文に沿って数直線図に表したりする経験を十分に積み重ねていくことや、実際に立てた式で計算して答えを求め、数直線図で確かめるといった、図と関連付けて考えさせていくことが大切です。

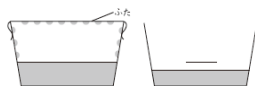
小学校・理科 7(1) 【自然事象についての知識・理解をみる問題】

【たくやくんのノート】

水は、時間がたつと空気中に出ていくのだろうか。

【実験の方法】

- ・ 2つのカップに同じ量の水を入れ、印を付ける。
- ・ 1つのカップにはふたをして、もう一方にはふたをしないで、それぞれ日光の当たるところへ3日間置く。
- ・ 3日後、カップの水の様子を調べる。



【結果】

- ・ ふたをしたカップは、ほとんど水が減らなかった。また、カップやふたの内側には、水がたくさんついていました。
- ・ ふたをしなかったカップは、水の量が減っていた。

【出題の趣旨】

液体から気体に水のすがたが変わる現象の名称を理解しているかをみる。

【問題の概要】

【たくやくんのノート】のように、ふたをしなかったカップの中の水が、水じょう気になることを何といいますか。言葉で答えましょう。

【正答】

じょう発

科学的な言葉や概念を理解するためには、言葉の意味を的確に捉えさせたり、日常生活に当てはめて考えさせたりする指導の充実を図る必要があります。この問題の正答を導くポイントは、液体から気体に水のすがたが変わる現象について理解し、「蒸発」などの「現象」を表す言葉と、「水蒸気」などの「現象によって見られる事物」を表す言葉を整理することです。

この問題のような学習活動では、「現象」を表す言葉と、「現象によって見られる事物」を表す言葉を分けて捉えられるようにしたり、日常生活の中で見られる水そうの水の量が減っていく現象や、洗濯物を干しておくことや乾く現象などについて説明したりするなど、言葉の意味を的確に捉えさせるなどの指導を充実させ、自然の事物・現象についての理解を図ることができるようになることが大切です。

中学校・国語 6(4)【読み解く力(意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力)をみる問題】

**壬生の花田植**

**概要** 壬生の花田植は、中国山地の村々で古くから伝わる行事の一つ。毎年6月第一日曜日に、市街地に程近い田を会場として行われる。豪華な飾りをつけた「飾り牛」が、水を入れた田の土を砕いてかきならした後、早乙女が囃子に合わせて田植え歌を歌いながら田植えをし、その年の稲作の無事と豊作を祈願する。

この行事は、稲作に従事してきた日本人の生活の特色を示す農耕儀礼として重要である。



歌舞伎



結城紬の着物

「資料B」インターネットで調べた情報

【出題の趣旨】

「日本の伝統・文化を受け継ぐ」というテーマについて、複数の資料を関連付けて読み、自分の考えをまとめることができるかをみる。

【問題の概要】

【資料B】など3点の資料から読み取った内容を踏まえ、テーマについての考えをまとめたものとして最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

【正答】

ウ 日本の文化の魅力や価値を理解し、受け継がれてきた歴史を学んだり他の国の文化との違いを考えたり、新たな魅力や価値を創造したりしながら、次の時代にも残っていくように努めていくことが「日本の伝統・文化を受け継ぐ」ことだ。

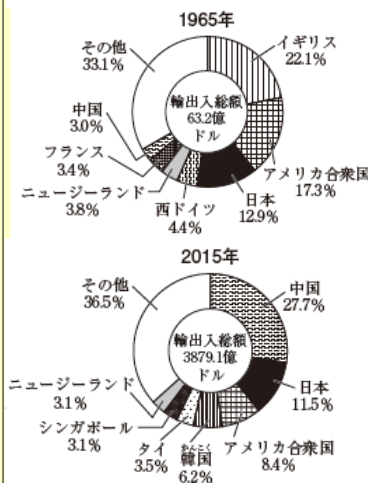
この問題では、「日本の伝統・文化を受け継ぐ」というテーマについて、自分の意見や考えをまとめ、発表するという課題を設定し、自分の考えを構築していくという学習活動を設定しています。

この問題の正答を導くポイントは、課題に応じて資料から必要な情報を正確に取り出し、その取り出した情報からどのようなことが考えられるのかを比較・関連付けながら読み取り、読み取ったことを基に自分の考えをまとめることです。

この問題のような学習活動においては、単元の学習を計画する際、教師は、その単元で生徒がまとめる考えを具体的に想定し、そこに到達させるための手だてを考えた上で、授業の流れを構成していくことが大切です。

中学校・社会 2(4)【社会的な思考・判断・表現をみる問題】

【資料1】オーストラリアの貿易相手国の変化



【出題の趣旨】

オーストラリアの貿易の特色について、資料と関連付けて説明することができるかをみる。

【問題の概要】

みほさんは、オーストラリアの貿易について調べ、左の【資料1】をもとに、1965年と2015年とを比較して考えられることをまとめました。みほさんがまとめた文章として最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

【正答】

ア オーストラリアの輸出入総額の割合は、1965年にはヨーロッパ州の国がおよそ30%を占めていたが、2015年にはアジア州の国が50%以上を占めている。このことから、ヨーロッパ州よりも距離が近いアジア州の国と貿易を行うようになったと考えられる。

この問題の正答を導くポイントは、貿易相手国と輸出入総額の変化を正しく読み取り、アジア州の国々との結び付きが強まった背景の一つを、オーストラリアの位置と関連付けて考えることです。

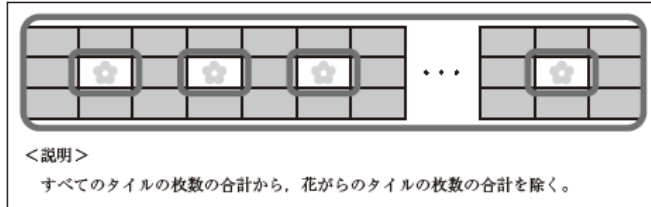
この問題のような学習活動においては、単元やまとまりを見通した「問い」を設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせることで、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする学習を一層充実させることが大切です。



中学校・数学 3(3) 【数学的な見方や考え方をみる問題】

かずきくんとわかばさんは、花だんにタイルを貼るときに必要な花がらのタイルの枚数と青いタイルの枚数について考えています。

【わかばさんの考え】



【出題の趣旨】

タイルの囲み方の図や説明から、その考え方を表す式が分かるかをみる。

【問題の概要】

わかばさんは、左図の【わかばさんの考え】のように、花がらのタイルを  $n$  枚使うときに必要な青いタイルの枚数を求める式について考えました。わかばさんの考えた式を書きなさい。

【正答】

$$3(2n+1)-n$$

過去の調査結果から、ある事象を、文字を使った式に表すことに課題があることが明らかになっています。この問題の正答を導くポイントは、例えば表と式を対応させ、式の中で使われている数を「言葉」で置き換えて表現することです。

この問題のような学習活動において、単元にとらわれない考え方を取り上げたり、考えさせたりすることが、数学的な見方や考え方を高めていく上で大切です。

中学校・理科 2(1) 【科学的な思考・表現をみる問題】

【図1】		
A	B	C
花の色 黄色	花の色 白色	花の色 紫色
花のつくりや花弁の特徴 たくさんのおさい花が 集まっている。花弁が1 つつながっている。	花のつくりや花弁の特徴 3枚の花弁が別々に付 いている。	花のつくりや花弁の特徴 花弁が1つにつながっ ている。
葉の形と葉脈の様子 	葉の形と葉脈の様子 	葉の形と葉脈の様子 
D	E	F
花の色 紫色	花の色 黄色	花の色 紫色
花のつくりや花弁の特徴 3枚の花弁が別々に付 いている。	花のつくりや花弁の特徴 4枚の花弁が別々に付 いている。	花のつくりや花弁の特徴 5枚の花弁が別々に付 いている。
葉の形と葉脈の様子 	葉の形と葉脈の様子 	葉の形と葉脈の様子 

【出題の趣旨】

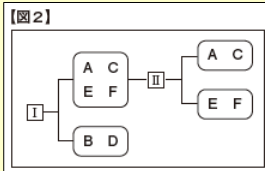
種子植物の体のつくりの特徴に基づいて分類することができるかを見る。

【問題の概要】

きょうこさんは、【図1】に示したA～Fの植物を【図2】のように分類するときの条件について考えています。分類した条件Ⅰ、Ⅱに当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

【正答】

- I Ⅰ 葉脈の様子
- Ⅱ Ⅱ 花のつくりや花弁の特徴



科学的な思考力・表現力を身に付けさせるためには、生物の共通点や相違点を見だし、それらを基にして分類するなどして、問題を見だし見通しをもって整理する力を養うことが重要です。この問題の正答を導くポイントは、植物の花弁や葉脈といった特徴について理解し、他の植物と比較して考えることです。

この問題のような学習活動において、様々な植物の特徴について、共通点と相違点の視点を生徒に与え、仲間分けする場面を設定したり、植物の特徴を整理して、植物を系統的に分類するためにはどのような方法があるかを考えさせたりすることなどの活動を通して、科学的な思考力・表現力を育むことが大切です。

中学校・外国語 10 【外国語表現の能力をみる問題】

Last weekend, I went to the sea with my family. We stayed at a \*hotel near the sea. On Saturday, my brother and I went fishing. We enjoyed swimming, too. On Sunday, we went to a restaurant and had \* Italian food for lunch. At night, we saw \* fireworks, too. They were very beautiful.

I did many things. I was tired, but

[注] hotel ホテル Italian イタリアの firework 花火

【出題の趣旨】

場面にふさわしい表現を用いて書くことができるかをみる。

【問題の概要】

左の英文は、「私の週末」というテーマであなた自身が行う予定のスピーチ原稿です。あなたなら  にどのような表現を入れますか。前の部分の内容につながるように、過去を表す表現を用いて、but に続く英文を1文書きなさい。

なお、\*印の付いている語には、本文のあとに【注】があります。

【正答】

(例) I enjoyed my weekend.

書く活動を行う前には、「話すこと」の活動として生徒が主体的に互いの考えや気持ちを英語で伝え合う言語活動を設定できるよう、実際のコミュニケーションの場面を工夫することが求められます。この問題の正答を導くポイントは、文と文のつながりを理解し、 に入る内容は肯定的なもの、つまり「楽しい」や「うれしい」などであると考えことです。

この問題のような学習活動において、生徒が自分の気持ちや考えを的確に伝えられるようにするためにも、前の文とそれに続く文がどのような関係になっているかを考えさせ、つなぎ言葉を効果的に使わせたりするなど、「文と文のつなぎ方」について扱うことが大切です。

今回のDVDを活用して、調査問題についての理解を一層深め、調査問題の出題の意図や問題分析を踏まえた授業改善に役立てていただきたいと思います。



## 平成30年度 「法」に関する教育を推進するための授業公開について

東京都教育委員会は、次代を担う子供たちが、法やきまり、ルール及び司法について学び、自由で公正な社会の担い手としての資質・能力を身に付けることができるよう、「法」に関する教育を推進しています。本事業の取組として、下記のように「法」に関する教育を推進するための授業公開及び協議会を実施いたします。詳細につきましては、9月上旬を目途に、区市町村教育委員会を通じて、各学校に御連絡いたします。

### ■ 平成30年度 「法」に関する教育を推進するための授業公開

	開催日時	会場	教科及び単元
①	10月4日(木) 午後1時35分～	練馬区立仲町小学校	小学校 第4学年 社会 「ごみの始末と再利用」
②	10月24日(水) 午後1時35分～	渋谷区立鉢山中学校	中学校 第3学年社会(公民的分野) 「労働者の権利」
③	11月9日(金) 午後2時10分～	千代田区立九段中等教育学校	高等学校 第3学年公民科(政治・経済) 「社会保障」

# 就学前教育カンファレンスを開催しました

今年度は、新幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の全面実施を受け、「新幼稚園教育要領等の全面実施を迎えて」というテーマで開催しました。

当日は、就学前施設の保育者、小学校等の教員、区市町村教育委員会関係者等、750名を超える参加者がありました。



## 次第

- 1 東京都教育委員会より説明  
「就学前教育カリキュラム改訂版ハンドブック[新幼稚園教育要領等対応]の活用について」
- 2 実践報告  
「新幼稚園教育要領に基づいた保育・教育をどのように実践しているか」
- 3 パネルディスカッション  
「新幼稚園教育要領等の全面実施を迎えて」  
(パネリスト) 公立小学校長、公立幼稚園長、公立保育園長、私立幼稚園副園長
- 4 協議会
- 5 講演  
「これからの保育・教育に求められること」  
(講師) 國學院大学教授 神長美津子 先生

## 実践報告

### 中央区立晴海幼稚園

新幼稚園教育要領を踏まえた幼小接続として、**幼小の教員が小学校区の子供の課題を共有**し、幼小9年間をかけて課題解決する意識をもっています。**互いの教育を知る**ために、保育・授業参観をして理解を深めながら、幼小合同で研究に取り組んでいます。

### 学校法人平田学園 府中白糸台幼稚園

「保育後15分」と時間を設定し、新幼稚園教育要領に基づき、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を視点とした**保育の振り返り**を行っています。各教員が**共通の視点を活用**することで、幼児の育ちについて、共通理解を図りやすくなりました。

## パネルディスカッション

- ◆ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」など、**改訂の内容を保護者へ説明**すると、「遊びから学ぶこと」への理解が深まり、子供の育ちを共有しやすくなります。
- ◆ 就学前教育と小学校教育の共通点や違いについて理解を深めるために、要領等で**共通に示された言葉の活用**が求められます。
- ◆ 「就学前教育カリキュラム改訂版(ハンドブック)」など、**自治体が作成した指導資料の活用**により、就学前施設及び小学校で子供の育ちを共有できるため、円滑な接続に有効です。

## 参加者より

「『**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**』を**小学校で共有する必要性**を感じた。また、**就学前教育からの学びの連続性を意識した指導**の工夫をしようと思う。」(小学校教員)

「短時間でも、**日々の保育の振り返りを徹底**し、『**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**』の理解を深め、小学校との円滑な接続を意識した保育を**実践**する。」(就学前施設保育者)

## 講演

全ての就学前施設・小学校において、子供の育ちが共有されるよう、今回の改訂は進められました。このことを確実に把握・理解し、**子供の育ちを見通した保育・教育の実践**が必要です。

「**就学前教育カリキュラム改訂版(ハンドブック・リーフレット)**」を御活用ください。

## 活用者の声

- ・ 幼稚園教育要領等の改訂内容が総説にまとまっていて分かりやすい。
- ・ 0歳から小学校入門期までの子供の育ちを系統的に見通せるため、就学前施設だけでなく、小学校での指導の工夫・改善にも活用できる。

[http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/document/pre\\_school/index.html](http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/document/pre_school/index.html)

もしくは右記QRコードより御覧いただけます。





## 道徳授業地区公開講座意見交換会導入ビデオ資料の活用について

### ●DVDを活用した意見交換会の充実

道徳授業地区公開講座では、道徳の授業公開だけでなく、保護者や地域の方と先生方が、子供たちの豊かな心の育成について語り合う意見交換会を充実させることが大切です。

平成30年3月に配布したDVD（各学校1枚）とリーフレット（全教員1部）を活用することも方法の一つです。意見交換会を充実させ、学校と家庭・地域とが一体となった道徳教育を推進しましょう。



【DVD】 【リーフレット】

### ■東京都教育委員会からの講師派遣でも、DVDを活用しています。

#### ●ドラマ「思いやりって？」を活用

困っている人に席を譲れば、それが思いやりなのでしょうか？  
人に言われたら譲る？ 怒られたくないから譲る？  
本当の思いやりとは何なのでしょう？



#### ●ドラマ「なんでこんなことに…」を活用

SNSを子供の頃に使ったことがある大人はいません。  
自分たち大人が経験していないことを、子供たちは経験しています。  
自分が経験していないことをアドバイスするのは難しいことです。だからこそ、皆さんで知恵を出し合って相談してみましょう。

#### 〈保護者・地域の方・先生が語り合う〉

「子供たちが思いやりのある人に育っていくために大人たちにできることは…?」、「子供たちが正しく判断し、行動できるようになるために、大人はどうすればいい?」などのテーマに沿って、それぞれの立場からの意見を交流し、スクラムを組んで子供たちを育てていきましょう。



#### 【意見交換会を充実させるポイント】

話し合いで何か一つの答えを出す必要はありません。道徳的な課題に対して、学校で取り組んでいくこと、家庭でしかできないこと、地域に協力できること…、それぞれの役割について考えながら、互いに協力し合っていこうという気持ちを共有することが大切です。



## 「特別の教科 道徳」授業力向上セミナーの開催予定について

今年度も東京都道徳教育推進委員による授業公開を行います。開催通知を御確認の上、参加を希望される場合は区市町村教育委員会を通じてお申込みください。

	開催日時	会場	実施学年
①	10月1日(月) 午後2時30分	会場 新宿区立四谷中学校	実施学年 中学校 第3学年
		JR中央線・総武線、地下鉄丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅徒歩2分	
②	11月1日(木) 午後2時35分	会場 多摩市立多摩中学校	実施学年 中学校 第2学年
		京王線 聖蹟桜ヶ丘駅徒歩15分(聖蹟桜ヶ丘駅・永山駅からバス有)	
③	11月8日(木) 午後1時35分	会場 江東区立深川第三中学校	実施学年 中学校 第2学年
		JR京葉線 越中島駅徒歩3分、地下鉄東西線・大江戸線 門前仲町駅徒歩8分	
④	11月14日(水) 午後1時25分	会場 多摩市立青陵中学校	実施学年 中学校 第3学年
		京王線・小田急線 多摩センター駅または永山駅からバス 「とちのき公園入口」下車	
⑤	11月20日(火) 午後2時30分	会場 目黒区立大鳥中学校	実施学年 中学校 第3学年
		JR山手線・地下鉄三田線・地下鉄南北線 目黒駅からバス 「大鳥神社前」下車	
⑥	11月30日(金) 午後2時30分	会場 豊島区立西池袋中学校	実施学年 中学校 第1学年
		JR山手線 池袋駅徒歩15分、西武池袋線 椎名町駅徒歩6分、地下鉄有楽町線 要町駅徒歩10分	



## 東京都「特別の教科 道徳」カンファレンスを開催しました

平成30年7月26日に、都内公立小・中学校等の道徳教育推進のリーダーとしての役割が期待される先生方216名を対象に、東京都「特別の教科 道徳」カンファレンスを開催しました。

### ■ 講義「別葉を活用した道徳教育のカリキュラム・マネジメント」

#### ● 「点」から「線」へ、「線」から「面」へ

1単位時間の授業を充実させるだけでなく、学年で、そして学校全体で、計画的に道徳教育を推進していくことが大切です。

各教科や特別活動など、学校における全ての教育活動を通じて、どのように子供たちの心を育てていくのか、道徳教育の全体計画や別葉を活用しながら、計画的に道徳教育を推進していくことが重要です。



### ■ グループ協議「学校全体で取り組む道徳教育の充実に向けて」

#### ● 小中の交流から学ぶ

【参加者アンケートより】

- ◆ 中学校では、一つの学級の道徳教育にたくさんの教員が関わっている。小学校でもたくさんの教員が様々な形で道徳教育に関われるよう、工夫していきたい。
- ◆ 評価の在り方や方法について、小学校の実践から多くのことを学ぶことができた。中学校でも生かせる事例が得られた。



#### 【道徳教育の全体計画の別葉について】

子供たちの道徳性を着実に育むためには、年間35時間の道徳科の授業だけでなく、教育活動全体を通じて取り組む道徳教育の充実が求められます。「他教科や学校行事の中で、いつ、どの場面で、どのように道徳教育を行うのか」を計画し、具体的に示したものが「別葉」です。

平成30年度 道徳教育全体計画 別葉 第3学年

内容項目	道徳科	学校行事 特別活動 各教科 家庭・地域	生徒の姿	
A 主として自分自身に関すること	自主、自律、自由と責任	「精力善用」と「自他共栄」の精神をオリンピックへ —嘉納治五郎—	○生徒会役員選挙（5月） ○委員会活動・係活動（通年）	自主的に判断し、自分の行動に責任をもつ生徒
	節度、節制	是、人生第一の大事なり —養生訓—	●家庭科「食生活と栄養について」（6月） ○セーフティ教室（7月）	規則正しく、安全に配慮して生活する生徒
	向上心、個性の伸長	ポッチャ	●体育「陸上競技」（5月） ○運動会「競技・係活動」（10月）	自己を見つめ、自らを伸ばしていこうとする生徒
	希望と勇気、克己と強い意志	「厳しい道を選ぶ」 —大村智博士—	●社会「近代日本の形成」（6月） ●国語「文学的文章」（9月）	より高い目標の達成に向け、あきらめず進み続ける生徒
	真理の探究、創造	真実から真理を求める —ガリレオ・ガリレイ—	○総合的な学習の時間「日本文化」（4月～） ●美術「創作活動と作品鑑賞」（12月）	物事の本質に迫り、新たな創造につなげる生徒

別葉には、特に定まった形式はありません。各校が工夫して、具体的で扱いやすい実効性のあるものにすることが大切です。

国語や体育、運動会や係活動など、様々な教育活動の中で、どのような道徳性を育むことができるか、それを明らかにし、道徳科の授業との関連を図りながら、より効果的に道徳教育を推進していきましょう。



## 「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための研修」について

7月27日（金）、30日（月）、31日（火）の3日間、中学校英語科の先生方を対象とした「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための研修」を実施しました。本研修は講義とワークショップで構成されており、「話すこと」のパフォーマンステストの視点から、新学習指導要領の実施に向け指導と評価の改善を図ることをねらいとしています。ここでは、受講した先生方の声を紹介します。

### ■ 受講した先生方の発言から

- 普段、指導上の悩みなどについて情報交換する機会がなかったが、この研修に参加し優れた実践や他校の取組を知ることができ、とても有意義だった。
- 今回の研修の内容を所属校で共有することで、指導内容や評価の信頼性を上げていくことができると思う。
- パフォーマンスを評価する際のポイントが分かった。この研修で学んだことを2学期からの授業に生かしていきたい。
- 生徒の実態に合わせて評価基準表を工夫し、指導した内容を評価できるようにパフォーマンステストを実施していきたい。
- パフォーマンステストやその他様々な活動について、その活動を行う意味を生徒に伝えることが大切であるということが分かった。
- 生徒が英語で話すことに慣れるためには、日々の授業の中で「英語で話す機会」をたくさんつくるのが大切だと思った。
- 中学校3年生の学習到達目標を意識して、1年生の時から計画的に指導していくことが大切だと感じた。
- 生徒と教師、生徒同士の英語によるインタラクションを普段の授業の中に多く取り入れていきたい。



### 【指導と評価の改善に役立つ参考資料】

本研修の講義の中で紹介されていた資料のURLをお知らせします。

- ・ 中学校学習指導要領解説 外国語編（平成29年7月）  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/1387016.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm)
- ・ 全国学力・学習状況調査 英語予備調査について  
[http://www.nier.go.jp/18chousakekkahoukoku/kannren\\_chousa/eigo\\_yobichousa.html](http://www.nier.go.jp/18chousakekkahoukoku/kannren_chousa/eigo_yobichousa.html)
- ・ 小学校外国語・外国語活動新教材「We Can!」「Let's Try!」  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/123/houkoku/1382162.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/123/houkoku/1382162.htm)
- ・ 東京都研究開発委員会指導資料集  
<http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/09seika/reports/kenkyukaihatsu/index.html>
- ・ 中学校英語科教師のための指導資料  
[http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/document/global/junior\\_high.html](http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/document/global/junior_high.html)

※ 各中学校に配布している「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための指導資料DVD」、  
「パフォーマンステスト実施の手引き（CD-R）」も御活用ください。

## 「理数教育の窓」—理数好きの子供たちを育てるために—

東京都教育委員会では、小・中学校における理数教育の充実に向けて、様々な取組を実施しています。ここでは、「理科教育カンファレンス」について紹介します。

### 平成30年度 理科教育カンファレンスを実施しました

#### 理科教育カンファレンスとは

理科教育カンファレンスは、都内公立小・中学校（中等教育学校前期課程、義務教育学校前期課程・後期課程及び特別支援学校小学部・中学部を含む。）で理科を指導する教員が、都や国における理科の課題や先進事例を共有し、理科教育の改善・充実を図ることを目的としています。

#### 今年度の概要

今年度は、8月1日(水)にオリンパスホール八王子、8月2日(木)に板橋区立文化会館にて開催しました。

[主な内容]

##### パネルディスカッション

『理科の見方・考え方』を働かせて資質・能力を育成する授業づくり

パネリスト： 公立小中学校 校長・指導教諭・主幹教諭

内容：

- 「見方・考え方」とは何か
- 「見方・考え方」を働かせるとはどういうことか
- 「見方・考え方」を働かせるるとどのような効果があるのか
- 「見方・考え方」を働かせるために教員はどうすればよいのか

##### 講演

「科学の楽しさをすべての人に～広がる好奇心・深まる好奇心～」

講師：NPO法人ガリレオ工房理事長 滝川 洋二 先生

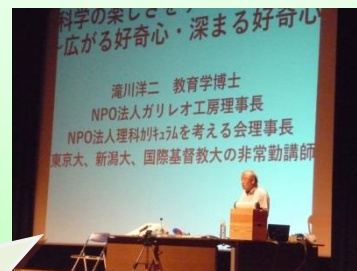
内容：

- 押し付けの教育から知りたくさせる教育へ
- 理科読（読書を通して自然科学を学ぶ）の勧め
- 光に関わる実演（目に映る風景・望遠鏡など）
- ビー玉プロジェクターの作成を通じた実験



4人のパネリストから、「理科の見方・考え方」をどのように働かせ、資質・能力を育成するかについて、具体的な授業の提案をしていただきました。

講師の滝川先生から、実演を交えながら子供が知りたくなる、学びたくなる授業をつくることの意義などについて御講演いただきました。



#### 【参加者の声】

- ・新学習指導要領の内容でよく理解できなかったことが、本日の研修ではっきりした。パネリストから具体的な実践を聞いたのがよかった。
- ・「理科の見方・考え方」について、ぼんやりとしていたものが、自分の中で明確になった。
- ・講演会が体験型だったのがすごく魅力的でした。きっと子供たちもこのような気持ちになるのでしょう。子供たちをこういう気持ちにしてあげられる授業をしたいと思いました。

※各学校から参加した先生による校内での還元研修等を通して、今後のよりよい授業づくりにお役立てください。